

智徳の真玉

学校教育目標：命・人権を大切にし、豊かな心を持ち、
学ぶ力を身につけた、たくましい子どもの育成
ホームページ<http://hhigashi@town.aisho.lg.jp>

R3. 2. 1発行
秦荘東小学校
発行責任者
校長 今村 増弘

G I G Aスクール構想パート2

昨年末の12月25日発行の『智徳の真玉』でふれましたが、パート2として、3学期に入って、各教室に大型の電子黒板が導入されたことについてお知らせします。

新しく導入された電子黒板は、「書く」、「消す」、「拡大する」など授業で良く使う機能が、簡単な操作でできます。映している画面に、そのまま直接、書き込みができ、直感的な操作ができます。「こんなことができるんじゃないかな…」とスマートフォンやタブレットを扱う感覚で触るとできてしまうような感じです。電子黒板にケーブルでつなぐだけで、書画カメラも連動して使えます。教科書を電子黒板に映したり、子どもたちのノートを映したりするだけではなく、例えば家庭科で玉止めやミシンの使い方といった手元の操作を見せたいときもワンタッチで切り替えができ、さっと映せて授業の流れを止めることなく進められます。書画カメラの映像には書き込みも可能なので、注目するポイントを書き加えて示したり、画面上で比較して違いや経過を見せたりすることもできます。子どもたちも操作がかんたんにできるため、自分の考えを発表するのに手間取りません。自分のノートをカメラで撮って、すぐ画面に映し出せるため、発表用の資料や配布物を作成する時間をとることなく、すぐに考えをまとめ議論し合う時間に使うことができます。

今まで、黒板でしていたほとんどのことが、電子黒板で可能になり、教科書を拡大コピーして提示していたことなども、手間をかけることなくできます。国語の教科書では、標準語で音読もしてくれますし、今読んでいる行の色を変えて提示するなど、音読の指導も電子黒板で進められます。英語の指導も、正しい発音で示すことが可能です。今後、子どもたちが手にするタブレットとつながり、自分の考えをみんなに示すことも簡単にできてしまいます。その分、みんなで考えを練り合う時間が増えたり、鮮明に提示できるようになった資料やグラフ、図形などを使って、考えを説明したりする機会がたくさんとれるようになると思います。現在は、テキストで進めている『漢字音読名人』の学習も、タブレットや電子黒板を使って進めて行くことができそうです。

コロナ禍が解消され、以前のように参観していただけるようになったら、きっと一気に進められているG I G Aスクール構想におどろかれることだろうと思います。また、初めてのことなので、今は想定できていない課題にも向き合わなければならないことも考えられますし、高価なタブレットの扱いについて、ご協力をお願いしなければならないこともできると思います。どんなふうに変わってきているのか、お子さんを通じて注目していただきたいと思います。



2月の主な行事予定

1日(月) 登校指導・校内書き初め展～10日まで	15日(月) 登校指導・ノート展～26日まで
2日(火) 委員会活動	16日(火) 教育相談の日
3日(水) 一斉下校・ノーマディアデー	17日(水) 一斉下校・ノーマディアデー
9日(火) 集金日・6B 有線放送	18日(木) 避難訓練(火災)・5A 有線放送
10日(水) 一斉下校・ノーマディアデー	23日(火) 天皇誕生日
11日(木) 建国記念の日	24日(水) ノーマディアデー
	25日(木) 5B 有線放送
	26日(金) 6年生を送る会②③

